

生見 まちづくりプラン

第2期 令和4年度～8年度
(2022年度～2026年度)



生見まちづくり協議会

目 次

I プラン策定について	1
1 プラン策定の趣旨	1
2 第1期の成果と課題	1
3 計画の期間	1
II 生見校区の概要	2
1 生見校区の位置	2
2 生見校区のあゆみ	3
3 生見校区の人口、文化、産業等	4
III 生見校区の現状と課題	5
1 まちづくり部会	5
2 福祉安全部会	6
3 社会教育部会	7
4 社会体育部会	8
IV まちづくりの目標	9
1 目標（スローガン）	9
2 運営方針	9
3 組織の体系図	10
4 活動の体系図	11
V 事業計画	12
VI 資料	18

生見まちづくりプラン

令和4年3月（2022年3月）発行

生見まちづくり協議会

〒891-0206

鹿児島市喜入生見町1365

TEL 099-343-1120

FAX 099-343-1120

I プラン策定について

1 プラン策定の趣旨

地方から都市部への人口流出や、少子高齢化により人口減少が顕著になる中、地域社会も大きく変化しつつあり、私たちはより住みやすく、より豊かになるため住民一人ひとりが自ら考え、自ら諸活動を行う必要があります、特に福祉や安心安全での共助による地域の協力・交流が求められている。

そのような中、生見地域の豊かな活性化を求めて第1期コミュニティプランが策定され、各部会が主になって構成団体等と連携を取りながら地域課題の解決を目指し、地域資源を活用するなど、地域主体のまちづくりに取り組んできた。第1期の事業を検証していく中で、新たな地域課題の解決に向けて第2期まちづくりプランを策定することにした。

2 第1期の成果と課題

(1) 成果

- ・ コミュニティプランが内容豊かに継続して実施されることで、住民のまちづくりへの理解が深まりつつある。
- ・ これまでの生涯学習や青少年健全育成、社会体育の活動を継承するとともに、福祉や安心安全などの共助の分野や地域資源を活用することに取り組むコミュニティ活動に近づけたことは大きな前進である。
- ・ 四つの部会が主体的に、また協力的に事業を進め役割分担が明確になった。
- ・ 構成団体によるまちづくりについての意見、理解が住民に浸透しやすくなり活性化につながりつつある。

(2) 課題

- ・ 「生見まちづくり協議会」の名称は確実に浸透しつつあるが、コミュニティプランの内容の浸透は厳しい状態であり、機会ある毎に説明を進めていく必要がある。
- ・ 避難訓練など安心安全に関する事業への理解は深くなったが、「安全な避難所」が皆無であることは住民の安心安全への大きな課題である。
- ・ 生見地域への思いを寄せて下さる方々や関わりのある団体などが交流を通じ、絆を深めることが新たな価値・多彩な人材を育てることに繋がり、地域活性化に寄与するという考えを浸透させる必要がある。

3 計画の期間

令和4年度 ～ 令和8年度 (2022年度～2026年度)

Ⅱ 生見校区の概要

1 生見校区の位置



都市計画図白図(鹿児島市)を使用

2 生見校区のあゆみ

「生見」の地名は「温水」或いは「温見」であったと推定され、いつ頃「生見」に変わったのかは分かっていない。

全国の湧水盛んなところは、温水或いは温見の地名が多いと言われ、生見の代表的な湧水地である井手之河、川畑の市水道水源地は一年中 19℃位で、冬は「温かく」感じられることが「温水」や「温見」につながったと考えられている。

生見校区は鹿児島市の最南端に位置し、指宿市や南九州市と隣接している。米倉、生見、森満、田貫、古久川、帖地の6集落からなっており、南北に長い地域である。生見校区にある帖地遺跡では、約2万5千年前のシラスの地層の下から、ナイフ型石器が発見されており、2万5千年より以前から人々が生活していたことがうかがえる。また、約1万2千年前の縄文時代早期の土器とともに、細石器や石槍、石斧などが出土しており、地形に恵まれたせいか、昔から祖先が住みつき、農耕が行われていたことがわかる。

校区内には、室町時代に作られたと推定される古殿の板碑をはじめ、旧跡・神社・文化財などが数多く残されている。また、現在でも、よい米が収穫できたことに感謝して餅を供える「かつさどっ」や砂浜に掘った大きな木の葉状の凹みに入った子馬役の下級生を、最上級生たちがつかんで外に出す「駒とり」などの伝統行事が継承されるなど、地域の中に伝統文化が息づいている。

生見校区は、自然に恵まれた地域である。このことは、鹿児島市内に78の小学校区がある中で、生見校区から鹿児島市の「かごしま自然百選」に5箇所選ばれていることから言える。この自然百選に選定されたのは、①メヒルギ自生地とハマボウの群生地、②生見海岸、③千貫平自然公園、④井手之河の滝と湧水、⑤帖地の山の神付近の森林であるが、この中のメヒルギ自生地は、国の特別天然記念物に指定されている。

生見校区は、平成16年11月鹿児島市になり現在に至っている。2022年1月1日現在を見てみると、校区の面積は、約10.7km²、世帯数は464世帯、人口は814人、喜入地域全体に対する人口比は、約7.5%である。南北に長く、集落間が離れていることから、校区の行事等の実施にあたっては、交通手段の確保などの課題がある。

土地は、川に沿い平地が開けており、古久川・帖地にかけては、やや高い土地になっている。千貫平からながめる海岸線はすばらしく、この美しい海岸線に鹿児島市内では唯一の松林がある海水浴場があり、夏は海水浴客でにぎわっている。

生見校区には、農業や漁業の従事者もいるが、兼業の占める割合が大きく、鹿児島市内のほか、指宿市や南九州市方面への通勤者も多くなっている。少子高齢化や農業後継者不足で休耕田畑や空き家、空き地が増え、地域の活力が衰退しがちで、地域における住民相互のつながりが薄れつつあるが、平成27年4月に生見まちづくり協議会を設立し活力ある新たなまちづくりに取り組んでいるところである。

3 生見校区の人口、文化、産業等

校区の施設

- ・生見校区公民館
- ・米倉集落公民館
- ・森満自治公民館
- ・古久川集落公民館
- ・生見保育園
- ・生見郵便局
- ・生見海水浴場
- ・生見小学校
- ・生見集落公民館
- ・田貫自治公民館
- ・帖地集落公民館
- ・生見駅
- ・生見漁港
- ・田貫川農村広場
(久保園運動公園)

校区の伝統行事等

- ・おた踊り
- ・銭太鼓
- ・駒とり
- ・かつさどっ
- ・鬼火たき
- ・十五夜の大綱づくり(引き)
- ・六月灯

校区の主な産業

- ・水田面積 59.3ha
- ・畑地面積 68.2ha
- ・樹園地 3.3ha
(鹿児島市役所調べ)
- ・農業
- ・漁業
- ・のり養殖業
- ・まぐろ養殖業
- ・建設業
- ・ねじ製造業
- ・医療施設



校区の文化財等

- ・帖地遺跡
- ・一里塚
- ・道秀の墓
- ・田貫の護岸記念碑
- ・古殿の板碑
- ・川畑の水力発電所跡
- ・龍王山源廣院跡
- ・帖地の山の神
- ・メヒルギ自生地
- ・日露戦没記念碑
- ・千貫平自然公園
- ・生見海岸
- ・生見校区耕地整理石碑
- ・井手之河公園
- ・田の神
- ・五輪塔

校区の団体等

- ・生見校区社会福祉協議会
- ・生見校区民生委員・児童委員
- ・鹿児島市消防団生見分団
- ・喜入観光協会(生見海水浴場)
- ・長寿会
- ・高齢者サロン
- ・ともしびグループ
- ・生見校区あいご会
- ・女性部会
- ・交通安全協会生見分会
- ・生見環境保全隊(水土里サークル)
- ・生見児童クラブ
- ・生見小放課後子ども教室

校区の人口(年齢構成) 令和4年1月1日現在

0～9歳	25人	60～69歳	166人
10～19歳	45人	70～79歳	198人
20～29歳	39人	80～89歳	105人
30～39歳	40人	90～99歳	49人
40～49歳	64人	100～109歳	0人
50～59歳	83人		
(世帯数 464世帯) (人口 814人)			

Ⅲ 生見校区の現状と課題

1 まちづくり部会

■ 現 状

- 生見校区の生活について住民の多くは自然が豊かで生活環境がよいこと、のんびり暮らせること、お互い支えあう心があることを住みやすさとして捉えている。また、買い物が不便なこと、交通の便が悪いこと、安全な避難場所がないことに住みにくさを感じている。それとともに生見小の将来を心配している。
- 生見校区の将来像について、住民の多くは各集落の連携がとれ、笑顔・あいさつが溢れ、郷土芸能の文化を継承でき、安心して子育てができるまちを求めている。
- 生見のまちづくりに対する意識は「参加したい気持ちはあるが、なかなか時間がとれない」「進んで参加する」がそれぞれ 1/3 を占める。前者は 20 代～60 代に多く、まさに現役の世代である。この方々はまちづくりに積極的な姿勢を持っていると捉え、事業の実施日を休日等にすることも一策である。
- 校区一斉清掃は住民の 2/3 が参加する長年にわたる 1 つの文化になっており、協力・美化の心が感じられる。校区ふれあい祭りは、生見小学校の学習発表会と同時開催され、住民の学習成果発表や交流の場として校区の楽しみな事業と捉えられている。
- 生見校区の自然環境の充実には、海水浴場を含む海岸清掃、休耕田畑の利活用促進、千貫平・史跡等の地域資源の活用、ホテル・花を育てる環境作りが必要であるとしている。

■ 課 題

- 住民がまちづくりで心配している生見小学校の将来については、小学校・PTA・まちづくり協議会が一体となって児童増加につながる具体的な活動を図る必要がある。
- 自然環境の充実のために、みどりサークルと協働して休耕田畑の利活用、コスモス等の種まき等を継続していく必要がある。また、松林の草刈りは猛暑下での活動だが、ツワブキ群の黄色の開花に道行く人々を和ませる名所になりつつあることから継続していく事業である。
- 校区ふれあい祭りは生見小学校学習発表会、グラウンドゴルフ、農産物品評会、作品展示、舞台発表、おにぎり・うどん販売、抽選会、卵のつかみ取り等豊富な内容で来場者も多い。さらに住民が心待ちにするイベントになるよう、広報・内容と運営の工夫を図っていく必要がある。
- 協議会の事業に参加したい気持ちはあるが、時間がとれない現役世代の方々と情報交換を行い、意見等が反映された魅力あるイベントを検討していく必要がある。

2 福祉安全部会

■ 現 状

- 福祉について、住民は支えあう仕組み、高齢者や障害者のためのサービス、福祉に関する情報提供を求めている。特に支えあう仕組みを充実させることを、第1期より非常に多くの方が希望している。健康維持のサービス、世代間交流の充実について高齢者はもちろん若い世代も求めており、第1期に実施された関連する事業への参加者も多かった。
- 安心安全活動について「防災訓練や避難訓練」「危険箇所点検」など自然災害に関する身近な活動の充実を求めている。新規事業の「津波を想定した避難訓練」は各集落で実施され、参加者も多く近年の地震災害に対する関心と自助の考えの高さが伺える。

また、「パトロール活動」「登下校の見守り活動」など、現実には起こりうる社会的災害から子どもたちを守る活動の充実が求められている。
- 近年、交通事故における高齢者の加害・被害事故が増加しており、その対策の一環として、交通安全教室を校区グラウンドゴルフ大会時に隔年実施した。参加者は児童から高齢者まで幅広く、和やかな雰囲気の中、説明も分かり易く好評であった。なお、校区住民による交通事故はゼロに近い状況である。

■ 課 題

- 一人暮らしや高齢者・障害者への声掛け・見守り・交流は、誰もが安心して暮らせるまちづくりの大切な活動である。ともしび活動、高齢者サロンが中心になる事業であるが、今後も校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、集落長との連携を深め、若い方を含む福祉ボランティアの育成にも努める必要がある。
- 自然災害・交通事故等防止を目的とした危険箇所点検は、部会員が点検した箇所を安心安全ネットワーク会議で検討して行政と連携する形を毎年実施し、指摘箇所の改善が図られている。近年想定外の災害が発生していることから、他地域や過去の災害を踏まえて点検する必要がある。

また、津波を想定した避難訓練や防火防災訓練等によって住民の防災意識も高まりつつあるが、校区に「安全な避難場所」がないため行政や関係機関との連携を図る必要がある。

空き家は今後も増えると思われ、崩壊・防犯等の面からも注意する必要がある
- 校区でも高齢者の免許返納が話題になりつつある。また、児童から高齢者までの交通ルール指導のための交通安全教室は、継続する必要がある。なお、参加者の増加の工夫や隔年実施について検討する必要がある。

3 社会教育部会

■ 現 状

- 生見小学校と校区公民館が事業を催す主な会場となっている。6つの集落が地理的に離れているため、高齢者にとって会場までの交通手段は車以外には困難な状況にある。
- 生涯学習の一環として成人学級・女性学級を開設し、見識を広め健康志向的な豊かな人生を築く一助とするため、バス視察研修・健康体操・懐メロ・認知症予防・悪徳商法・ゴミ分別・避難後の生活等の講座を学習してきた。参加者は30～40人で固定化の傾向がみられる。70代、80代の講座参加者の多くは若々しく見えるので学習の効果が感じられる。
- 校区の史跡めぐりは、米倉・生見・森満コースと田貫・古久川・帖地コースに分け実施した。初めての道・史跡を体験し多くの知識が得られ交流が図られた。「校区愛が深まりました」の声も多く聞かれた。
- 成人学級・女性学級の希望講座は第1期に実施した講座の希望が多かった。園芸、伝統芸能保存、絵画、陶芸などの講座の希望もあるが数は少ない。
- 人口減少が進み各集落の女性組織も減少しつつある。校区の事業には協力をもらっているが、男女共同参画社会が進んでいく中、心配なことでもある。
- あいご会については、児童生徒の減少とともに、保護者の関心とあいご子ども会の活動は低下しつつある。集落単位の子ども会を一つにまとめあいご会の活性化を模索する時でもある。

■ 課 題

- 生涯学び続けると豊かな心の醸成・人づくりにもなり、まちづくりにも連鎖していくと考えられるので、学習の場の充実を図る必要がある。
- 成人学級・女性学級の開催に当たっては、受講者の要望を踏まえて講座の内容・日時・広報の仕方について工夫し受講者を増やす必要がある。
- 校区の史跡等から歴史を学び、伝統芸能の由来を知り、先祖の心や誇りを感じることで郷土愛につながると考えられるので保存継承に努める必要がある。
- あいご会活動は「校区あいご子ども会」のような形にすることで、今までの活動に加え、各集落の行事に参加できる可能性がある。地域の方々の理解、ふれあいが深まり、支援も広がることが期待される。
- 県下一周駅伝中継点おもてなし活動は、女性部会を中心に地元産の食材を用いた料理で、主に役員・選手をおもてなししていたが、遠方から応援に来ている方まで広げることで生見のPRにつなげたい。

4 社会体育部会

■ 現 状

- 近年ウォーキングをする方が増えつつあるが、グループより個人の場合が多いようである。また、グラウンドゴルフ愛好者は、高齢化等により減少傾向であり校区の数か所で組織的な活動がなされている。まちづくり協議会が主催する大会には60人を超える参加があり、50代以下の若い層の参加も見られる。しかし、生見小体育館解放制度を利用する活動は皆無で、全般的に見てスポーツ活動に参加する人は少ない。
- 小学校校区合同運動会の参加者が増えつつある。選手確保も苦労しないで、楽しい活動になるよう更に工夫に努める必要がある。
- 地域資源を活用した初めての「登ろう千貫平」への参加者は148名で、校区外45%、中学生以下25%だったので広報の成果が見られた。参加者からコース、素晴らしい眺望、校区の取組・準備の良さ・おもてなし・やさしさ等への感謝や、毎年実施の要望の声も多くあった。おにぎり弁当や記念品(校区産のつのみきだんご・青のり)も好評であった。
- 住民が第2期で希望する事業は、第1期で実施した事業が殆どであり、その中でも身近で参加しやすい運動会・グラウンドゴルフ大会・千貫平が多い。新しく希望する事業はヨガ・バドミントン等があるが数は少ない。県下一周駅伝は中継点があり、長年親しまれている。
- 喜入地域主催のグラウンドゴルフ大会・相撲大会・バレーボール大会・体育大会の出場者は、健闘して素晴らしい結果を残している。しかし、応援者・見学者は出場者と関係ある方が殆どである。高齢化等により、会場に行きたくても交通手段が厳しいという現実もある。

■ 課 題

- 校区主催のスポーツ事業において、住民の多くは親睦の場と捉えている。参加者が増え、その一体感が深まるように内容の工夫や運営の充実に努める必要がある。
- 小学校校区合同運動会は、学校と校区の連携の象徴でもあり、プログラムの内容や児童による「おた踊り」等にそれが特に感じられる。今後も多くの住民に支持されこれまで以上に盛り上がる事業を目指し、参加しやすく楽しめるプログラムの工夫を図る必要がある。
- グラウンドゴルフは、子どもから高齢者まで多くの人を楽しめるスポーツである。大会参加者は高齢者が多く占めていることから、子ども・若い世代も楽しめる運営に努める必要がある。グラウンドゴルフを楽しみたくても出来ない人には、他の競技(輪投げなど)を選んでもらいグラウンドゴルフと並行した大会になれば健康増進に繋がることから検討する必要がある。
- 地域資源を活用した「登ろう千貫平」は、校区の受け入れ態勢や住民のおもてなし・やさしさの心を知ってもらい、校区の紹介・交流もでき、校区外への情報発信につながった。今後も開催年の検討を含め継続すべき大切な事業である。

IV まちづくりの目標

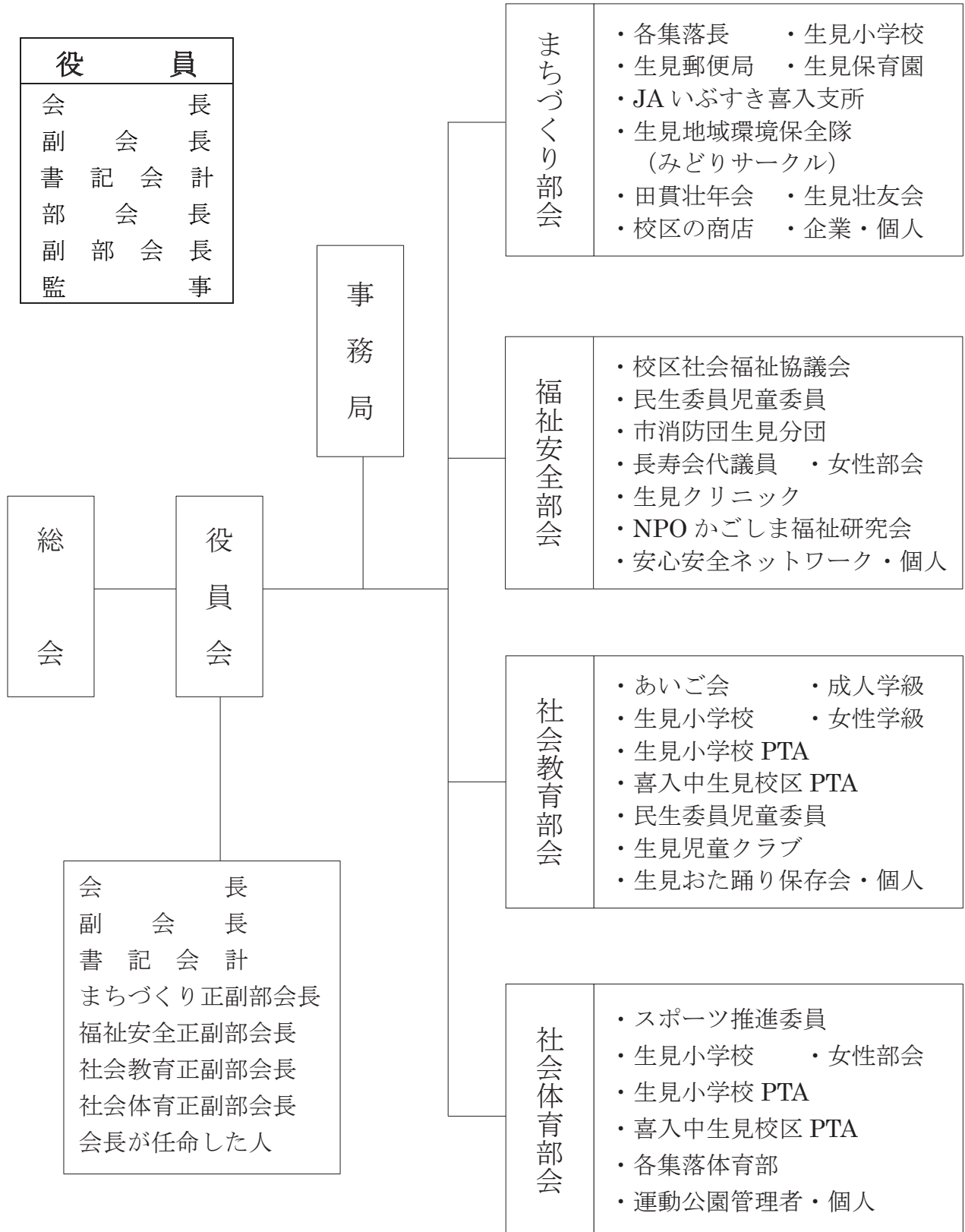
1 目標（スローガン）

豊かな自然 支えあう心
つな
繋ごう未来へ
ふるさと生見

2 運営方針

- (1) 校区住民が互助精神のもと、まちづくりの目標実現を目指し元気あるまちづくりを進める。
- (2) 自然環境を生かした美しいまち・魅力あるまちづくりを校区住民で進める。
- (3) みんなで創るまちづくりを基本に、役割を分担し部会の主体的・積極的な運営に努める。
- (4) 各種構成団体間の連携及び協調を図り、効率的な事業推進に努める。
- (5) 地域の課題や住民の声に基づいた地域コミュニティプランを策定し、その情報の発信により活動の理解や参加促進を図る。

3 組織の体系図



役員	
会長	副会長
書記	会計
部長	副部長
監事	

総
会

役員
会

事
務
局

まちづくり部会

- 各集落長
- 生見小学校
- 生見郵便局
- 生見保育園
- JA いぶすき喜入支所
- 生見地域環境保全隊 (みどりサークル)
- 田貫壮年会
- 生見壮友会
- 校区の商店
- 企業・個人

福祉安全部会

- 校区社会福祉協議会
- 民生委員児童委員
- 市消防団生見分団
- 長寿会代議員
- 女性部会
- 生見クリニック
- NPO かがしま福祉研究会
- 安心安全ネットワーク
- 個人

社会教育部会

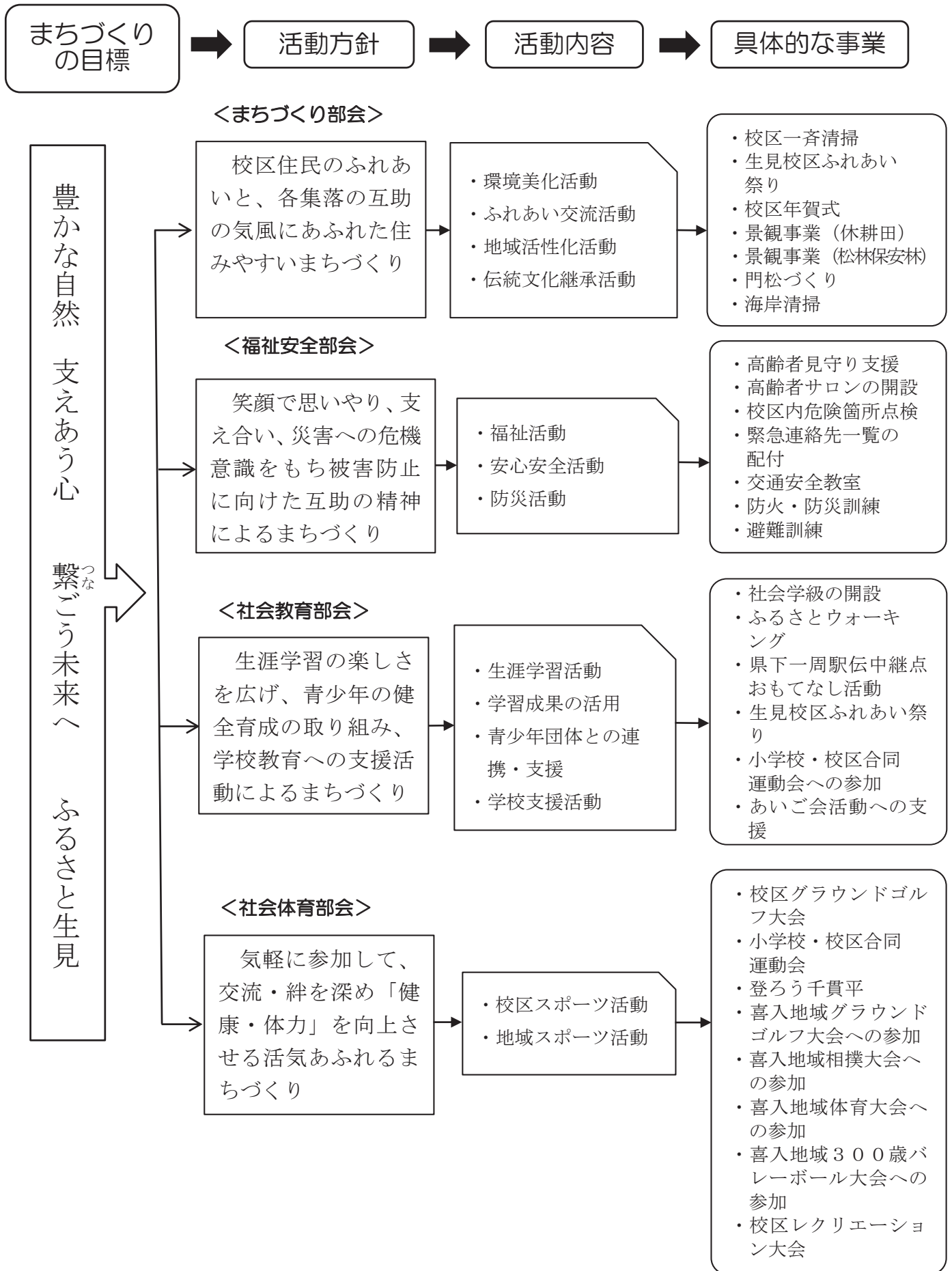
- あいご会
- 成人学級
- 生見小学校
- 女性学級
- 生見小学校 PTA
- 喜入中生見校区 PTA
- 民生委員児童委員
- 生見児童クラブ
- 生見おた踊り保存会
- 個人

社会体育部会

- スポーツ推進委員
- 生見小学校
- 女性部会
- 生見小学校 PTA
- 喜入中生見校区 PTA
- 各集落体育部
- 運動公園管理者
- 個人

会長
副会長
書記
会計
まちづくり正副部会長
福祉安全正副部会長
社会教育正副部会長
社会体育正副部会長
会長が任命した人

4 活動の体系図



V 事業計画

番号	実施 部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
1	まち づ く り 部 会	校区住民のふれあいと各集落の互助の気風にあふれた住みやすいまちづくり	環境美化活動	校区一斉清掃 (夏・年末)	集落単位で取り組む美化活動(夏のクリーンシティかごしま・年末一斉清掃)を校区一斉に行い、生活環境の美化を図る。
2				海岸清掃	子どもから高齢者まで参加して海を汚している漂着物を拾い処理することで、きれいな生見海岸を保つことができる。
3			ふれあい交流活動	生見校区 ふれあい祭り	小学校の学習発表会と同日開催とし、グラウンドゴルフ大会、舞台発表、農産物の品評会、作品展示、うどん販売、卵のつかみどり、お楽しみ抽選会等を実施し祭りを盛り上げる。
4				校区年賀式	元旦に住民が集い、年頭のあいさつや新年の抱負を述べるなどして、新年を祝う。
5			地域活性化活動	景観事業 (花の種まき)	J R 指宿枕崎線路沿いの休耕田畑に、子どもから高齢者まで参加して、コスモス・ひまわり・れんげ草・菜の花等を植え、新たな景観づくりを行う。
6				景観事業 (松林保安林内の草刈り)	鹿児島森林管理署と連携して防風林である松林の雑木・雑草等を刈り、つわぶきの群生、松林の景観作りを行う。
7			伝統文化継承活動	門松づくり	伝統的な風習として継承されている門松を作り、校区公民館入口に飾って新年を迎える。
8	福祉 安全 部 会	笑顔で思いやり、支え合い、災害への危機意識をもち被害防止に向けた互助の精神によるまちづくり	福祉活動	高齢者見守り支援	住民と民生委員、校区社協等が連携し、高齢者への声かけ・見守りなどの支援活動を実施する。
9				高齢者サロンの開設	高齢者が集い、お茶を飲みながら楽しく語り合う場(サロン)を集落単位で開設する。
10			安心安全活動	校区内危険箇所点検	校区内の危険箇所(自然災害を含む)の総点検を行い、被害防止策を検討し、点検結果を住民へ周知する。

事業効果	事業スケジュール（年度）					新規 継続	連携先
	4	5	6	7	8		
一斉清掃により、美化活動が推進され、住民どうしのふれあいの機会となる。また、お盆や新年を整然とした環境の中で迎える意識が高まる。	○	○	○	○	○	継続	・ 集落長
海や川からの漂着物は、私たちのゴミであることを知り、生活衛生の向上に努めることが、多用な生物、水産資源の保全に繋がり、海への愛着も深まる。	○	○	○	○	○	新規	・ 集落長 ・ 生見小学校 ・ 鹿児島市
児童たちは学習意欲、住民とのふれあいが深まり、住民は農作物の栽培や作品づくり、舞台発表への意欲、交流が向上するなど、地域の活性化が図られる。	○	○	○	○	○	継続	・ 社会教育部会・福祉安全部会 ・ 社会体育部会・生見小学校 ・ 交通安全協会・女性部会 ・ 校区社会福祉協議会 ・ 生見郵便局 ・ 水土里（みどり）サークル
年賀式を行うことで、住民としての自覚や一体感を共有する機会となり、地域活動の連帯につながる。	○	○	○	○	○	継続	・ 生見小学校
休耕田畑を活用して、コスモス・ひまわり・れんげ草・菜の花等を植えることにより、住民の協働意識が高揚する。また、新たな景観は、住民やJR利用者等に安らぎを与える。	○	○	○	○	○	継続	・ 水土里（みどり） サークル
国道から見えるつわぶきの花の黄色、青い錦江湾は道行く人を和ませ住民の協働意識・防風林への認識を高めてくれる。	○	○	○	○	○	新規	・ 集落長 ・ 鹿児島森林管理署
門松を目にすることで、新年に向けて気持ちを整理し、伝統的な風習の大切さを自覚する機会となる。	○	○	○	○	○	継続	・ 生見小学校
高齢者への支援に努めることで、お互いに意思疎通が図られ、思いやり支え合うまちづくりが推進される。	○	○	○	○	○	継続	・ 校区社会福祉協議会 ・ 民生委員
サロンに集い語り合うことで、ストレスや孤独感が軽減され、家庭への引きこもり防止につながる。	○	○	○	○	○	継続	・ 集落長 ・ 長寿会 ・ 民生委員
住民は危険箇所を確認することにより、危険回避に向けた活動に取り組み、災害のない安心安全なまちづくりが推進される。	○	○	○	○	○	継続	・ 集落長 ・ 生見小学校 ・ 鹿児島市

番号	実施 部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
11	福 祉 安 全 部 会	笑顔で思いやり、支え合い、災害への危機意識をもち被害防止に向けた互助の精神によるまちづくり	安心安全活動	緊急連絡先一覧の配付	警察、消防、医療機関等の緊急連絡先一覧を作成し、各家庭に配付する。
12				交通安全教室	住民の交通事故防止に向けた意識を高めるために、交通安全教室を開催する。
13			防災活動	防火防災訓練	住民の防火防災意識を高めるため、消火器の取扱いや救急救命（心肺蘇生法）等の訓練を実施する。
14				避難訓練	住民への通報訓練をはじめ、避難誘導、避難経路・避難場所の確認を含む訓練を、各集落単位で取り組む。
15	社 会 教 育 部 会	生涯学習の楽しさを広げ、青少年の健全育成の取り組み、学校教育への支援活動によるまちづくり	生涯学習活動	社会学級の開設（成人学級・女性学級）	社会の進展に対応できる能力を高め、地域の課題等を学び合う講座を企画し、地域の一員としての資質を高める。
16				ふるさとウォーキング（史跡めぐり）	ふるさと生見の自然に触れながら、子どもから大人までが史跡などを巡るウォーキングを実施する。
17			学習成果の活用	県下一周駅伝中継点おもてなし活動	女性部会を中心に、地元産の食材を用いた料理で接待し、選手・役員・応援者等を温かく迎える。
18				生見校区ふれあい祭り（展示・舞台発表）	社会学級（成人学級・女性学級）への参加者をはじめ、住民の学習成果を展示し舞台発表を行う。
19			青少年団体との連携・支援	小学校・校区合同運動会への参加	中高校生が、地域の一員として競技や運営に参加し、住民とのふれあいを深める。
20				あいご会活動への支援	地域ぐるみで「あいご会」の活動や行事を支援するとともに、「あいご会」の活動に関する住民への啓発を進める。

事業効果	事業スケジュール(年度)					新規 継続	連 携 先
	4	5	6	7	8		
緊急連絡先一覧の配付により、高齢者等に安心感が生まれるとともに、緊急時の対応に活かされるなど、安心安全な環境づくりが充実する。	—	○	—	○	—	継続	
交通安全教室の開催により、住民の交通安全の意識が高まり、交通事故ゼロのまちづくりが推進される。	○	—	○	—	○	継続	・南警察署 ・交通安全協会
訓練を繰り返し行うことで、住民の意識も高まり災害発生時に適切かつ迅速な対応がなされ、被害を最小限に抑えられる。	—	○	—	○	—	継続	・喜入分遣隊
主に津波を想定した避難訓練を体験することで、災害時の身の安全が確保され、安心安全なまちづくりにつながる。	○	—	○	—	○	継続	・喜入分遣隊 ・集落長
生活する上での様々な課題を学習する中で、教養や知識を習得するとともに、その成果をまちづくりに生かすことができる。	○	○	○	○	○	継続	・喜入公民館
ウォーキングに参加することで、健康づくりはもとより、ふるさとの再発見につながり、ふるさとを愛する心が深まる。	○	○	—	—	—	継続	・まちづくり部会 ・あいご会 ・長寿会 ・南警察署
選手や役員・応援者等に喜んでもらえ、生見のPRにもなり、心のこもった対応をしている女性部会のやりがいにつながる。	○	○	○	○	○	継続	・社会体育部会 ・女性部会
学習成果を発表することにより、学習意欲が高まり、人材発掘の機会となり、まちづくりに寄与できる。	○	○	○	○	○	継続	・まちづくり部会
青少年にとっては、住民とのふれあいの中で、自覚をもって存在を発揮できる場となり、自信にもつながる。	○	○	○	○	○	継続	・社会体育部会
地域ぐるみの取組により、あいご会活動の充実が図られるとともに、校区の活性化につながる。	○	○	○	○	○	継続	・あいご会 ・生見小学校

番号	実施 部会	活動方針	活動内容	事業名	事業内容
21	社会 教育 部会	生涯学習の 楽しさを広げ、 青少年の健全 育成の取り組 み、学校教育へ の支援活動に よるまちづく り	学校支援活動	学校教育活動 への支援	遠泳大会・プール清掃・学習発表 会・奉仕作業などへの協力を通し て、学校教育活動を支援する。
22			伝統芸能継承 活動	おた踊り	おた踊りの活動・指導に携わって きた方々が高齢になる今、小学生の 指導は継続するとともに、一般の会 員を募り活動・継承を強めたい。
23	社会 体 育 部 会	気軽に参加 して、交流・絆 を深め「健康・ 体力」を向上さ せる活気あふ れるまちづく り	校区スポーツ 活動	校区グラウン ドゴルフ大会	住民だれもが気軽に参加できる グラウンドゴルフ大会を通して、 ふれあいと親睦を図る。
24				校区レクリエ ーション大会	スポーツを楽しみたい住民を募 り、グラウンドゴルフ・スカット ボール・輪投げ・ダーツ・ストラ ックアウト等を通じて交流と親睦 を図る。
25				小学校・校区合 同運動会	生見小学校の運動会と合同開催 とし、だれでも参加できる競技内 容を工夫することにより、住民総参加 の運動会を目指す。
26				登ろう千貫平	美しい自然を感じられる千貫平 を目指して、健康づくりや仲間づく りを推進する。校区内外から参加者 を募る。
27			地域スポーツ 活動	喜入地域グラ ウンドゴルフ 大会への参加	喜入地域の一員として参加し、競 技や運営に携わる中で、喜入地域住 民とのふれあいを深める。
28				喜入地域相撲 大会への参加	校区公民館の相撲場を活用して、 数日間練習会を実施し、大会前に栄 養会を行い、士気を高めた上で、大 会に参加する。
29				喜入地域体育 大会への参加	小学校体育館やグラウンドを活用 して、競技や応援団の練習に組み 込み、士気を高めた上で、大会に参加 する。
30				喜入地域 300 歳バレーボー ル大会への参 加	異年齢の人が集まり、バレーボー ル大会に向け練習をする中で、親睦 と仲間づくりを進め、大会に参加す る。

事業効果	事業スケジュール(年度)					新規 継続	連 携 先
	4	5	6	7	8		
学校との意思疎通が図られ、支援する住民にとっては経験を発揮する場となる。また、子どもたちの感謝の心が育まれることが期待される。	○	○	○	○	○	継続	・まちづくり部会 ・生見小学校
おた踊りは生見唯一の伝統芸能であり、児童と大人が運動会等での共演を目指す活動の形ができると住民の喜び・つながりは大きくなり、愛着も増すと思われる。	○	○	○	○	○	新規	・おた踊り保存会 ・生見小学校 ・生見小学校PTA ・水土里(みどり)サークル
6集落のだれもが参加でき、わきあいあいとゲームを楽しみながら、絆を深めることができる。	○	○	○	○	○	継続	・集落長
子どもから高齢者やグラウンドゴルフを楽しみたくても出来ない方々も気軽に参加でき、レクリエーションの楽しさ、健康作り等を語れる場ともなり、ふれあいと元気なまちづくり活動となる。	○	○	○	○	○	新規	・集落長 ・集落長寿会
小学校運動会への支援活動とともに、世代間の交流や住民総参加のまちづくりが推進され、親睦の輪が広がる。	○	○	○	○	○	継続	・社会教育部会 ・生見小学校 ・女性部会
生見を代表する地域資源である千貫平を活用した事業を行うことにより、校区内外の人々との交流が図られ、まちづくりの活性化につながる。	○	○	○	○	○	継続	・まちづくり部会 ・福祉安全部会 ・社会教育部会 ・指宿青年会議所 ・喜入分遣隊 ・南警察署
生見校区の代表として参加することにより、好成績に向け校区の団結力が高まり、絆が強くなるとともに、喜入地域の一体感を共有できる。	○	○	○	○	○	継続	・各集落グラウンドゴルフ同好会 ・長寿会
相撲道の精神「心・技・体・礼儀作法」等を学ぶとともに、校区の団結力や児童のたくましが育まれる。	○	○	○	○	○	継続	・生見小学校 ・生見小学校PTA ・集落長
喜入地域体育大会への参加を通して、協力する心や校区の一体感が生まれ、活気あるまちづくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	・生見小学校 ・生見小学校PTA ・喜入中生見校区PTA ・集落長
異年齢の交流の場になるとともに、若い世代の参加による愛好会の自主的な運営が図られ、コミュニティ活動を支えるグループが育成される。	○	○	○	○	○	継続	・バレーボール愛好会

VI 資料

1	校区の施設、産業、伝統行事等の写真	・・・	19
2	校区の文化財等	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
3	生見小学校児童の作文「将来の生見」	・・・	27
4	「地域コミュニティプラン」策定の経過	・・・	33
5	プラン策定委員会委員名簿	・・・・・・・・・・・・・・・・	34

1 校区の施設、産業、伝統行事等の写真



生見校区公民館



生見小学校



米倉集落公民館



生見集落公民館



森満自治公民館



帖地集落公民館



田貫自治公民館



古久川集落センター



生見郵便局



生見駅



生見保育園



生見児童クラブ



生見小放課後子ども教室



おた踊り



青のり養殖



生見漁港



オクラ畑



田貫川農村広場（久保園運動公園）



銭太鼓



鬼火焚き



十五夜の大綱つくり (引き)



生見海水浴場



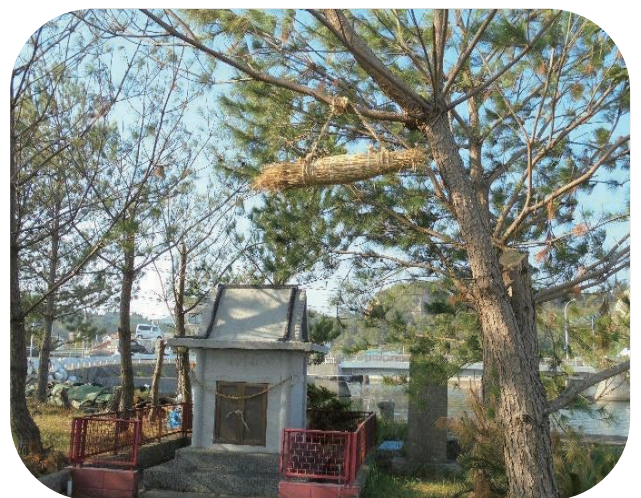
駒とり



いあな
井穴洞穴 (バクチガマ)



日露戦役記念碑



かっさどっ

2 校区の文化財等



都市計画図白図(鹿児島市)を使用

① メヒルギ自生地	⑦ 川畑の水力発電所跡
② 道秀の墓	⑧ 帖地の山の神
③ 一里塚	⑨ 映画「ゆずの葉ゆれて」ロケ地
④ 生見海岸	⑩ 千貫平自然公園
⑤ 田貫の護岸記念碑	⑪ 井手之河の滝と湧水
⑥ 古殿の板碑	⑫ 龍王山（生見山）源廣院跡



① メヒルギ 自生地

熱帯から亜熱帯の河口干潟に生息するメヒルギの自生北限地として、昭和 27 年に国の特別天然記念物に指定されている。特別天然記念物は、県内でも 7 つしかなく、鹿児島市内で唯一の特別天然記念物である。また、一画には県の準絶滅危惧種に指定されているハマボウの群生地がある。



② 道 秀 の 墓

米倉集落の羽出島神社（祭神は道秀であるともいわれている）のあった場所に、平家流落の士と伝えられる道秀の墓がある。道秀は怪力無双の人で、孟宗竹を割ってタスキにして、強弓を引いたとも、また米倉門の祖とも伝えられている。この故事にちなんで、米倉付近を青矢ともいう。



③ 一 里 塚

喜入地域では、現存する唯一の一里塚で、米倉集落から生見集落にかけての 226 号沿いにある。一里塚は、里程と方向を示したもので、土を盛り、木を植え、石柱を立てて旅の便を図ったものである。



④ 生 見 海 岸

喜入生見町の国道 226 号沿いに、砂浜と松林が広がっている。海沿いの松林は、校区民による草刈りもなされ、台風等へ防風林の役を果たしている。ハマヒルガオなどの海浜性植物も見られる。夏には海水浴場とそれに隣接するビーチハウスが開設され、多くの市民が訪れ、眼前に桜島を眺めながら海水浴を楽しんでいる。また、ウミガメの産卵地としても知られている。



⑤ 田貫の護岸記念碑

田貫一帯の海岸には明治 44 年まで塩田があったが、閉田後台風等により海岸が浸食され、大正 3 年桜島大噴火で一層被害が大きくなった。2 回の工事（大正 15 年、昭和 2 年延べ 8 か月）の総工費は 31,474 円（現在の 1.1 億円余）であり、当時積まれた石材は、現在のコンクリート製護岸の基礎部に見られる。



⑥ 古殿の板碑

古久川集落（古殿）の一面に板碑（板状の岩石、写真の↑部）があり、中央上部に梵字（ぼんじ 古代インドの文字）が刻まれている。板碑の横に「福富之四郎兵衛」とあるが、建立の目的、内容は不明である。これはその型から室町時代のもものと推定され、町内に残る最も古い板碑である。ここは、「アンドン（阿弥陀堂か）屋敷跡」と呼ばれているが、かつて寺があり喜入に移したと伝えられている。



⑦ 川畑の水力発電所跡

川畑の東方、田貫川沿いに鉦山用水車があり、これを用いて発電していた。その一つは禰答院家のもので、特に帖地の鉦山に送電するものであったといわれている。古老の話によると、坑内には裸電球がついていたという。発電所の建設は明治 40 年代から昭和初期まで行われていたようである。禰答院家の鉦石は、田貫海岸まで馬で運ばれ、西陽丸（禰答院どん船）で串木野に運んでいたといわれる。また、鉦石を選別するための水車もあったといわれる。



⑧ 帖地の山の神

帖地の水田を通り抜けた先にある森林の中に、山の神の巨石が祀られており、隣には農業用水として利用されている沢がある。山の神は、荒神ともまた女神ともいわれ、自然の樹木や岩石がご神体となっている。山の神を信仰すれば、家族が元気で山野の作物が豊作であると言われている。また、山の神を祀る 1 月 16 日に、山神講（ヤマカンコウ）と呼ばれる行事が続いているが起源ははっきりしない。この地に一歩足を踏み入ると大へゴが目に入り、一種独特の雰囲気を醸し出している。



⑨ 映画「ゆずの葉ゆれて」ロケ地

鹿児島市椋鳩十児童文学賞受賞作品が原作の映画「ゆずの葉ゆれて」が、帖地集落に植えられたゆずの木を中心に、平成 27 年 8 月から喜入地域全体で撮影された。原作は、佐々木ひとみさんの「ぼくとあいつのラストラン」である。津川雅彦、松原智恵子、西村和彦さんなど、沢山の方が熱演されている。地域の人も、オーディションを受けて多数参加している。



⑩ 千貫平自然公園

1968 (昭和 43) 年、県によって整備・指定された千貫平自然公園は、標高 577m 周囲 15 km² の公園で、一帯には、つつじや低灌木が繁茂し、天気の良い日には開聞岳、桜島をはじめ知林ヶ島、遠くは、硫黄島を望むことができる。千貫平の名の由来は定かではないが、千貫の巨岩があったからだとも、千貫で買い取った牧場があったからだとも伝えられている。また、平成 28 年 9 月 25 日のまちづくり研修会で、「千貫平は 250 万年前にでき桜島の 2 万 6 千年前、開聞岳の 3 千 9 百年前と比べるとその古さが分かる」と、講師の東川隆太郎氏が話された。



⑪ 井手之河の滝と湧水

生見集落の丘陵地の麓に、豊富な湧水で形成された井手之河 (いでんこ) があり、水温は 1 年中 19℃ 位である。ここには、小魚やカニ類などが生息している。周辺は井手之河池農村公園として整備され、市民が気軽にふれ合える場となっている。その横には滝があり、その水は農業用水として使用されている。



⑫ 龍王山 (生見山) 源廣院跡

寛文 4 年 (1664 年) 肝付氏 5 代領主久兼の弟、阿多撰津介忠朝の霊を弔うため、家臣白浜賢右衛門重繩の請願で、左の写真の水田に源廣院が建てられたと推定されている。(忠朝には、嗣子が無いことを悲しんでその霊を弔った) 往時の名残として、生見小学校の南西の墓地の一面に、一体の観音像が残されている。

3 生見小学校児童の作文「将来の生見」

「生見にほしいもの」

1年 かわばた るり

生見に、ゆうえんちができたらいいなとおもいます。
かぞくやおともだちと、あそびにいけるからです。

「こんな生見に」

1年 つるだ あんり

生見のまちが、あんぜんになってほしいです。
だから、ほどうきょうがあつたらいいとおもいます。

「生見にほしいもの」

1年 すず えいしん

生見に、こうえんがあつたらいいです。どうしてかという、こうえんは、たのしいからです。

「生見にほしいもの」

1年 よねくら ゆうや

生見に、がっこうがたくさんできたらいいいとおもいます。
いっぱいべんきょうできるし、ともだちもふえるからです。

「生見にほしいもの」

1年 よねくら すずの

みんなでたのしくあそんだり、はしったりできる、おおきなひろばがあつたらいい
なとおもいます。

「こんな生見に」

1年 うめつ れんと

生見にしんかんせんがおればいいとおもいます。
それは、どこにでもいけるからです。

「生見にほしいもの」

2年 ひがし ゆずき

わたしは、生見の町に、大きなひろばがあつたらいいと思います。
みんなでやきゅうをしたり、サッカーをしたりできるからです。

「未来の生見の町」

3年 岡元 海音

ぼくは、生見の町はたくさんの人が住む場所になってほしいです。なぜなら、人数が多いと会話もできるし、みんなとドッジボールとかボールオニとかいろいろな遊びができるからです。

生見の町はきれいな海や山があります。たくさんの人たちと山登りをしたいです。また、ぼくはつりが大すきなのでたくさんの友だちとつりもして楽しみたいです。

生見の町はたくさんの人が住む町になってほしいです。

「未来の生見」

3年 米くら かずき

生見の町は今友だちが少ないから友だちがいっぱいてほしいです。なぜなら、友だちが少ないといっしょに遊ぼうと思っても遊べないから友だちがいっぱいてほしいです。友だちがいっぱいいるといろいろな事ができるから友だちがいっぱいてほしいです。友だちがいると学校でみんなで遊んだりとうこうできるのでともだちがいっぱいてほしいです。

「未来の生見」

3年 かこい のの

生見の町に家がたくさんあってほしいです。そこで、家がたくさんある町になって、友だちをたくさん作りたいです。なぜなら生見には、あまり友だちがいなくてふえたらいいなと思ったからです。そうなった町でわたしは、作った友だちといっしょに、生見の町にできた店に買い物に行ったり、山にじてん車にのってさんぽしたいです。

生見の町に、家が多くなることを心のおく深くからねがいたいです。

「未来の生見の町」

3年 米くら ふみか

今、ぜん国でコロナがはやっています。コロナのせいでいろんな人が大ぜいなくなっています。なので未来の生見の町はコロナにかかってもすぐになおせるくすりがあるほしいです。コロナをなおせるくすりがあれば安定して生活できるし今、コロナでできないカラオケにみんなであそびなどにも行けます。

生見のまちがコロナでも安心してらせるまちになることをねがっています。

「楽しい生見の町」

5年 梶 幸来

私のりそうの生見の町は、大きなデパートや、空の上にある公園があるといいと思います。理由は、小さい人から大人の人までみんな楽しめると思ったからです。大きなデパートがあると、ほしくなったものがすぐ買えたり、身近で買い物などを、楽しめるからです。公園は、雲が地面なので、小さい子が落ちても、ふかふかしていてもおもしろいと思うからです。のどがかわいてしまっても、にじ色のミックスジュースのようなものがあります。そして下りたりするときは、エレベーターがあつて、きれいな景色をながめながら、下りたり、のぼったりすることができます。これらがあると、小さい人から大人の人までみんな楽しめるので、デパートや、空の上の公園があるといいと思います。

「理想の生見町」

5年 生見 終真

ぼくは、生見町が大都会になったらいいなあと思います。生見町の長所は、自然がいっぱいなところだとも思いますが、買い物とかに行くとき車で最低でも10分かかかるから近くに歩いていけるぐらいのお店がほしいです。そしたら、海や自然がある町として人がいっぱいひっこしてきて有名になるとおもいます。そしたら、今は、全こうじどうが、約20人の生見小も前と同じぐらいになるとおもいます。10年後、成人になったとき少しでも発てんしているとうれしいです。

「にぎやかな生見町」

5年 松元 音輝

ぼくは、こんな生見町があつたらいいなと何回も何回も思いました。
ぼくたちの町には、おいしいクレープ屋があります。そしてクレープを海で食べられたりします。ぼくは、もっとお客さんが楽しめるように、ビーチの近くに「うきわ屋」や「かき氷屋」ができてほしいと思っています。理由は、「かき氷屋」ができると、もっとお客さんが楽しめるし、ビーチがにぎやかになると思ったからです。そして、あと一つあります。それは、夏に花火大会があつてほしいです。花火大会があると「かき氷屋」も売れて、海で花火ができるからきれいだと思います。

「みんな元気な生見の町」

5年 宮原 未羽

わたしは、みんなが元気でいてほしいです。みんなが元気だと町が明るくなります。なぜかと言うと、今コロナと言うウイルスがあつてコロナにかんせんしてしまうと、とても重い病気にかかって、いろいろな人たちが亡くなっていったみんながそれにおびえて生きています。そして、最初はコロナのかんせん者が少なかったかごしまは、今では8701人です。そして死亡者が56人です。わたしは、それをテレビで見てちゃんと手洗い、うがいそして消どくをしようと思いました。でも、生見まで広がってみんなにかんせんしたら、みんな苦しくなるので今一番だいじなマスク、消どく、手洗い、うがいをちゃんとしてかんせんしないようにしたいです。これからもわたしは、みんなと元気でいたいです。

「にぎやかな生見の町」

5年 山下 莉佳

わたしは、もっと生見をにぎやかにしたいです。例えば、遊園地や動物園、水族館など、家族で行ける楽しい場所がほしいです。これらの場所は、遠い場所にあるので近くにできたらうれしいです。そうするとクレープを食べに来た人が遊んで帰ったりして生見も有名になると思うからです。また、コンビニがほしいです。コンビニが近くにあると、小腹がすいたときに、コンビニで買ったりできると思ったからです。また、人もたくさんくると思います。なぜなら、有名なクレープ屋が生見にあるので生見は、もっとにぎやかにできると思います。そして、これらができたら、たくさん利用したいです。休日にも、家族で遊んだりして過ごしたいです。わたしは、生見をもっとにぎやかにして、有名にしたいです。

「にぎやかな生見の町」

5年 米倉 美桜

わたしは、生見に遊園地があったらいいなと思いました。理由は、生見に遊園地とかあればたくさん人が来てにぎやかになると思うからです。あと、夏にたくさん人が来てくれるように、海の近くに、かき氷屋とかうき輪とかをたくさん売っている店とかあるといいなと思いました。他にも、いろいろ売っているお店とかごはん屋さんとかあったらたくさん人が来てくれると思います。最後に、キャンプ場があるといいと思いました。理由は、生見は自然がたくさんあるし、山もあるからいいと思うからです。わたしは、今みたいに自然もあるけど、みんなが来てくれるような遊園地やお店やキャンプ場があったらいいと思います。

「コロナに厳重な生見の町」

5年 米倉 花虎

僕が願う生見の町は、米倉や田貫、森満、生見などの集落の、田んぼ道の、出入口に、検温してくれる人と、水分ほ給と、マスクのていきょうなどをてってほしいです。理由は、学校に来て体温が37.5度をこえていた場合、そのまま往復して家に歩いて帰ることになります。また、登校しているときに「あ、マスク忘れた」となると、ちこくするから取りに帰れない。学校に行って「マスクをください」と言うのも気まずいので、田んぼの出入口で「マスク持って来た？」と聞かれ「忘れてしまった」と言い、そのときにもらったほうがやりやすいです。水分ほ給は、熱中しょう対策です。

「なってほしい生見」

5年 米倉 力旗

ぼくは、ゲームが好きなので、ゲーム大会などをやりたいです。ほかにも、人と人の関わりが良くなってほしいです。ほかにも生見には、生見海水よく場があるので、生見駅には近いけど生見ビーチ駅という名前で駅を作ってほしいです。ほかにもぼくはおかしが好きなので、もっとおかし屋さんとかケーキ屋さんを作ってほしいです。ほかにも、遊ぶのも好きなので、ラウンドワンみたいな、遊べる場所を作ってほしいです。そしたら、もっと、生見に人が集まって、もっといい場所になるかもしれないからです。そして、みんなが見てくれるような、すばらしい町になってほしいです。

「便利な生見の町」

6年 米倉 弘悟

ぼくは、便利な生見校区にしたいです。まず、生見駅を学校の近くに移動させてほしいです。なぜなら、小学校で遠足に行くとき、いつも歩くのがつらいからです。それともうひとつあって、兄が喜入中学校に行っていたとき、毎朝、生見駅まで自転車で行ってから、電車に乗って学校に行っていました。そして、兄だけでなく米倉や生見集落の人には、少し遠いと思っています。なので、きよりを短くしてほしいです。それとあともうひとつあります。生見・米倉集落の人が通る通学路に台風でミラーが折れてなくなり困っています。今は一応、音などで車が来るときは、分かりますがやっぱりミラーがないと不安です。なのでミラーを付けてください。無理な願いをすみませんでした。できたらお願いします。

「にぎやかな生見の町」

6年 米倉 夢月

私は、森満公民館にある遊具をきれいにして、みんなが、集まって、交流できる場をつくってほしいです。なぜなら、生見校区の中に、私たちの知らない人がいて、登下校の時に、「この人悪い人じゃないかな」と心配になることが多くあります。そして、コロナ禍で、生見の子ども達がストレスを感じていると思います。なので、遊具をきれいにして、子どもからお年寄りまで、楽しく過ごせる公園みたいなものがほしいです。また、遊具だけでなく、ベンチなどを置いて、気軽に相談できるようにしてほしいです。このような場所をつくることで、顔見知りの人が増えて、心配することもなく、もしものときに助けてもらえたらすごく安心できると思います。そして、生見校区全体の人が、さらに仲良くできることが、私の理想です。

「ゆたかな生見の町」

6年 鶴田 歩音

私は、この生見の町をもっとゆたかにするために、みんなの交流の場があったらいいと思う。みんなで遊んだりお話ししたりと、もっと生見の人と仲良くなって笑顔いっぱい生見のまちにしたいからだ。緑がいっぱいに広がった公園をつくったら、もちろん動物たちも出てくるようになるかもしれない。その公園のそうじは、生見小学校の人と生見にすんでいる人々で一つの行事としてきれいにしていきたい。あともう一つの願いは、生見の町の道路を広くしてほしい。そうすることで、前から車がきてもバックしないで、スムーズに進むことができると思う。事故も防ぐこともできるはずだと思う。



「こんな生見」

山下 侑真

ぼくは、この生見に、イオンみたいな大きな店があってほしいと思う。なぜなら、どこか、スーパーに行くとしても指宿か喜入にいかないといけない。さらにイオンなら、遠くまでいかないといけない。だから、この生见到飲食店や、映画、買い物ができるイオンみたいな店ができればいいと思った。近くにお店があれば、どんなときでもいけるし、映画館があれば人もたくさん来ると思う。そしたら、生見も大にぎわいになると思う。あと、この生見の海もきれいにした方がいいと思う。きれいになればもっと人がくると思う。あと海の上にアスレチックができれば YouTuber たちもくるかもしれないから、もっと生見がにぎやかになると思う。

「未来の生見」

梅津 しずく

私は生見海岸にイオンみたいな店があるといいと思う。なぜなら、生見には商店はあるけれど大きい店はないからだ。買い物に行くときも遠くまでいかなければならなくてとても不便だ。夏には生見海岸に泳ぎに来る人も多いので泳いだ後に買い物をしに来る人もいると思うのでたくさんお客さんが来ると思う。生見は、自然がたくさんありとてもいいところなのでイオンを作れば絶対に観光客や生見の人でにぎわうと思う。私は、10年後の生見がとても楽しみだ。建物は多くなっているのか、学校は人数がふえるのかなと心待ちにしている。10年後はいろんな人でにぎわう生見になってほしい。

「よりよい未来の生見の町」

山野 愛侑

私は生見の自然を生かして、森の中キャンプ場があったら良いと思う。そうすると、生見の町が人でにぎわうと思う。今、私たちはコロナ禍でリモートワークなど家にこもる人が多くなった。その中でも、森の中キャンプ場があれば自然や動物、生き物にふれあい森林浴もできることによってストレス解消になる。そして、キャンプをすることによって、サバイバル術が高まり、災害時に役立つことがある。森の中キャンプ場があることによって、自然にふれあうこともでき、1年中キャンプができること、災害時に役立つ。これにより、一層便利な暮らしができ、生見の町がにぎわうと思う。

「もしも生见到スーパーができたなら」

生見 優衣夏

私は、生见到スーパーができてほしい。野菜やフルーツ、冷凍食品、お肉にお魚、おやつ、雑誌、パン、お米、アイスなどいろいろそろっているスーパーがいい。できればサンキューみたいに洋服や百貨、ゲームセンターがあるところがいい。なぜなら、少しの買い物をするにも指宿や喜入に行かないといけないからだ。また、自動車を使うことで石油が減り、二酸化炭素が排出されて環境に悪いからだ。もし、生见到スーパーができたなら友達と気軽ににおやつを買いに行ったり、おつかいに行ったりと歩いていける。そうしたら、自分の健康にもいいし、環境にもいいから一石二鳥だと思う。そして、おじいちゃんやおばあちゃんたちも、お散歩がてらに来てにぎやかになると思う。だから私は、生见到スーパーをつくってほしい。

4 「地域コミュニティプラン」策定の経過

令和2年度

月 日	曜	会 議 名 等	内 容 等
10 月 7 日	水	第 1 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン策定計画の検討 ・第 1 期プランの反省・まとめ（事業の成果と課題）について四部会の日程と参加者の検討、決定 ・アンケートの項目・回答者の案検討
10 月 24 日	土	福祉安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 期事業の総括、事業内容の検討
11 月 1 日	日	社会体育部会	
11 月 4 日	水	まちづくり部会	
11 月 7 日	土	社会教育部会	
12 月 2 日	水	第 2 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会の第 1 期事業の総括、事業内容の検討 ・アンケートの項目・内容・回答者・実施日の検討、決定
1 月			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施（校区民の 15.1%）
2 月			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計作業
3 月 3 日	水	第 3 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの分析

令和3年度

月 日	曜	会 議 名 等	内 容 等
5 月 8 日	土	福祉安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題・活動方針・活動内容・事業計画案の検討
5 月 19 日	水	社会教育部会	
5 月 21 日	金	社会体育部会	
6 月 23 日	水	まちづくり部会	
6 月 9 日	水	第 4 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン策定について（趣旨、期間）案の検討、決定
10 月 6 日	水	第 5 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・プラン策定について（第 1 期の成果と課題）案の検討、決定 ・生見校区の概要案の検討、決定 ・各部会の現状と課題案の検討、決定 ・まちづくりの目標案の検討、決定 ・各部会の事業計画案の決定
12 月 1 日	水	第 6 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料案の検討、決定 校区の施設、産業、伝統行事写真等 校区の文化財等 ・構成団体案の検討、決定
1 月 15 日	土	第 7 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティプラン案の確認 ・住民への周知方法案の検討、決定
1 月 16 日～ 1 月 31 日	日 月	地域住民へ情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティプラン案の周知 ・意見集約
2 月 24 日	木	第 8 回プラン策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意見を踏まえ、修正箇所等の確認 ・プラン最終案の決定
3 月		事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷

5 プラン策定委員会委員名簿

委員長	宮原正紘	(生見まちづくり協議会 会長)
委員	古殿和博	(" 副会長)
"	榎下幸二	(" 副会長)
"	宮原良樹	(" 書記会計)
"	久津輪実信	(まちづくり部会 部会長)
"	帖地泉	(" 副部会長)
"	帖地光信	(福祉安全部会 部会長)
"	川畑茂樹	(" 副部会長)
"	宮原正一	(社会教育部会 部会長)
"	帖地近行	(" 副部会長)
"	岩本丈二	(社会体育部会 部会長)
"	米倉祐三	(" 副部会長)
"	森崎一美	(校区社協会長・みどりサークル事務局)
"	山崎幸子	(生見まちづくり協議会 事務局職員)

令和2年度

委員	森満近雄	(まちづくり部会 部会長)
"	帖地利男	(社会教育部会 部会長)
"	米倉英治	(社会体育部会 副部会長)